

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 令和6年度事業報告（委員会単位）

(グローバルビジネス委員会関係事業)ー令和7年3月末

事業		事業項目	内 容	担 当	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備 考
グローバル ビジネス 発展・普及 事業	交流事業	行政や関係機関と連携した海外の業界団体および企業との連携事業 (Ⅳ－1－(1)－ab)	1.世界24の国と地域的情サ団体が一堂に集うJISA・Asocio40周年記念交流イベント(24年11月)など、連携団体との協働によるMISA会員企業の国際連携利益を醸成する 2.既存交流団体(JISA,CISA等)や、今後MISA会員企業の国際連携利益を高めると考えられるASEAN(PIKOMなど)、世界各国の業界団体との積極的な交流	グローバル ビジネス 委員会	内容精査			関係団体との連									A. Asocio2024デジタルサミットにMISAとして参加、JISA国際委員会、各国デリゲーション(台湾協会(CISA)、中国ソフトウェア協会(CSIA)、マレーシア協会(PIKOM)、ベトナム協会(VINASA)等)代表幹部らとの連携と相互理解をさらに深めることとなった。(Asocioデジタルサミットは2025は台湾開催との事で、台湾沈理事長よりMISAからの参加を是非とも歓迎するとの伝言を預かっております) B. ベトナムJapanICTデイ2024へ参加-JISA国際部等からの連携要請もあり、Jetro,ベトナム協会(Vinasa),JISAらがホストするベトナム-日本の情報サービス業の連携年次イベントVietnam Japan ICT DayへMISAとして出席した。VINASA三役やベトナム政府(ハノイ市人民政府→政府高官退出の主要地域ユニットの一つ)、またJISA関係者とのさらなる相互理解が進んだ。
	発展・普及	ICT CONFERENCE (Ⅰ－1－(1)－a)	当協会に対し会員・外部からの理解促進を図るため、コミュニケーションツールとしてのイベントを開催する。 ※但し、本来業務である”国際関連事業”と趣旨が異なるという議論が従前よりあるため、抜本的再検討を要する。							内容精査							A.3月13日、または17日に実施の方向で、関係者と計画を協議中となった。ガバメントクラウドおよびDXへの意欲的な取り組みを模索される企業のうちNTTDataとくらインターネット幹部らに登壇を頂き、行政関係者も交えた小講演とパネルディスカッションの開催し、100名近くの来場者に恵まれ大盛況の会となった。
	国際人材採用促進	国際人材(留学生、域内滞在国際人材、および新規招聘人材)の採用促進事業 (Ⅰ－1－(1)－a)	1.域内最大の留学生を擁する東北大学などを中心に、域内の大学、専門学校、専修学校などと連携し国際人材の採用の可能性を検討する 2.上述交流事業から公的団体、関連団体と連携することにより、域内滞在国際人材の採用の機会を検討する 3.関係各国の団体、政府らと連携し新たに招聘する国際人材との連携の機会を模索する		関係機関との協議・ヒアリング			実施状況の取りまとめ									・東北大キャリア支援センターと連携の上、国際人材の企業交流・インターンの受け入れについて協議を行った。

(注1)事業項目欄の()内は事業計画書の項目Noを示す。

(広報委員会関係事業)ー令和7年3月末

事業		事業項目	内 容	担当	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備 考
広報事業	情報誌の発行	当協会内部及び外部へ、当協会の理解を深めてもらうため、各種広報誌を作成し、会員、関係機関・団体、一般公共施設等に加え大学、高専、専門学校、高校などにも配布する。 また、MISAホームページ、MISA Facebook及びメディアへの継続的な情報を提供し、協会のプレゼンス向上に努めると共に会員企業への公平・公正な情報発信をおこなう。		広報委員会													
		協会情報誌による情報発信 (Ⅰ-4-(1))	・MISA情報誌:年2回発行 発行部数は1回当り600部とする。 第55号を4月、第56号を10月に発行する。 ・協会情報誌発行:6月 ※今年度は組織等に変更がないため更新しない。						準備								○第55号情報誌発行(4月)600部 (内容) 令和元年度MISA事業計画、第8次中期企業計画 ○第56号情報誌発行(10月)600部 (内容) 第13回通常総会・役員改選報告、委員会活動報告 ○表紙写真はフォトコンテストで募集・選定
	ホームページ・SNS	MISAホームページ&MISA SNSによる情報発信 (Ⅰ-4-(2))	・MISA関連イベントをホームページとFacebookを活用しMISA内外にタイムリーに情報を発信することでMISAのプレゼンス向上を図る。 対外的な情報発信に加えMISA会員に対し親しみやすく且つ有益な情報も提供する。	〃					継続	実施							・MISAホームページ 「各委員会ページ」の更新状況確認、外部からのアクセス分析及びアクセス数向上施策検討及び実施 ・MISA SNS グローバルな「いいね」獲得数向上、Facebook活用、及び外部からのアクセス分析及びアクセス数向上施策検討及び実施、東北の「いいね」情報発信、IT業界の「いいね」情報発信 ・情報発信方法の見直し
		MISA公式SNS開設による知名度向上 (Ⅰ-4-(3))	・最新のSNS利用率等より、新規ターゲット層が多く利用するSNSを調査し、新たなMISA公式SNSを開設、情報発信することで、知名度向上、新規会員、人材確保に貢献する。						調査検討								※本年度はPR動画製作準備に注力するため来年度に持ち越し
		PR動画による認知度向上 (Ⅰ-4-(5))	・MISAのPR動画を制作し、認知度向上を図る。ターゲットを対外向けと人材確保用の2種類制作を目指し、今年度は対外向けPR動画の完成を目指す。						PR動画の制作、検討								※2025年4月のPR動画製作コンペに向けて進行中
	情報発信	MISA会員企業及びメディアへの情報発信 (ニュースリリース) (Ⅰ-4-(6))	・MISA会員企業への公平・公正な情報発信をおこなう。 ・MISAの特徴的な行事を取り上げ新聞等のメディアに情報提供するとともに集客に努める。	〃					随時	対応							・MISA会員への情報発信 情報発信方法の改善策検討 ・プレスリリース 報道機関向けプレスリリースの検討及び活用(MISAホームページ掲載等) ・各省庁からの有益な情報(MISA会員にメリットの有る)を発信する。

(注1)事業項目欄の()内は事業計画書の項目Noを示す。